

統合占術プラットフォーム — 鑑定ワークフロー & 出力テンプレート

目的 (Overview) このドキュメントは、Chronogram（クロノグラム）、素質論、（西洋）占星術、Human Design、Gene Keys、数秘術などの複数占術を統合した「個人鑑定」を一貫して実行できるワークフロー、判定ロジック、出力テンプレート、および自動化の設計指針を提供します。鑑定は「解釈（解説）」と「実践（行動プラン）」を両輪に据え、クライアントの意思決定や検証可能な行動に落とし込める形式を目指します。

目次

1. 基本方針と前提
2. 必須入力フォーム設計（UI定義）
3. 各占術の具体的手法（実装レシピ）
4. クロスチェックと信頼度評価ルール
5. 出力テンプレート（レポート形式）
6. 恋愛／出会い運の短期検証プロトコル（3ヶ月ルール検証用）
7. 自動出力・Excelテンプレート仕様
8. データ欠損時の代替手順（時間不明・場所不明など）
9. 倫理・利用規約・説明文（クライアント向け）
10. 追加アップデート案とバージョンニング

1. 基本方針と前提

- **目的指向**：鑑定は“役に立つ示唆”を出すことが最優先。占術的結論だけでなく、行動プラン／検証指標を必ず付与する。
- **多角的検証**：重要な時期や結論（例：『3ヶ月以内の出会い』）は最低3つの独立した体系（例：トランジット／プログレス／素質論の短期リズム）で裏取りする。
- **透明性**：前提（使用したデータ、欠損時の仮定、信頼度）を明示する。
- **修正可能性**：鑑定結果は『暫定』→『検証』→『更新』のサイクルで扱う。

2. 必須入力フォーム設計（UI定義）

- **必須項目**
 - 氏名（表示名）
 - 生年月日（yyyy-mm-dd）
 - 出生時間（HH:MM、不明可）
 - 出生地（市区町村レベル）
- **任意項目**

- 性別（任意）
- 現住所（タイムゾーン確認用）
- 鑑定対象：『総合』／『恋愛（出会い）』／『仕事（3年計画）』など
- 注目期間（例：3ヶ月／1年／3年）
- クライアントが既に持っている“予言”（占い師の指定事項）を入力できる欄（例：「3ヶ月以内に出会いがないと…」）

UI/UX補足 - 生年月日と出生地入力後、タイムゾーンを自動判定して表示（ユーザーが確認・修正可）。 - 出生時間が不明の場合は「正午/真夜中/出生時間不明（推定）」を選ぶようにし、鑑定の信頼度が視覚的に表示される。

3. 各占術の具体的手法（実装レシピ）

ここでは実務的に実装しやすい手順を提示します。必要ライブラリ（推奨）や、出力項目も併記。

A. Chronogram（クロノグラム）

目的：日付ベースでの運勢リズムを視覚化（年間サイクル／重要日抽出）。

入力：生年月日（yyyy-mm-dd） **アルゴリズム概要：** 1. 個人カレンダーを年単位で生成（誕生日起点のサイクル） 2. 主要トランジット（太陽・月の重要節入り）と照合 3. 年間の『注意日』（5～10日）を抽出（イベント感度スコアでソート）

推奨ツール：自作ロジックで可。天体の簡易節入りはephem/skyfieldで取得可能。

出力：年間カレンダー（CSV/Excel）、注目日の短解説

B. 素質論（Eastern typology）

目的：個人の根源的な資質・行動様式を定量化して提示

入力：生年月日（＋出生時間で精度向上） **アルゴリズム概要：** - ユーザー定義の素質計算式に従って“素質スコア”を出力（例：性格係数、衝動係数、耐久係数など）。 - 年齢推移によるフェーズ分類（青年期／成熟期／変容期）を合わせて表示。

出力：素質サマリ（パーセンテージ表示）、強み・弱み、推奨行動

C. 西洋占星術（ネイタル＋トランジット＋プログレス）

目的：長期（3年）～短期（3ヶ月）の天体配置による運氣分析

実装手順： 1. **ネイタルチャート生成**（要：生日時＋出生地） — 使用: pyephem/skyfield or Swiss Ephemeris (pyswisseph) 推奨 2. **トランジット解析：**現在～3年の主要天体トランジット（木星・土星・天王星・海王星・

冥王星)とネイタルの重要ポイントの接触を抽出 3. **プログレッション(進行)**:日進法/二重進行など必要に応じ実施 4. **短期(3ヶ月)検証**:個人天体への内惑星(太陽・金星・火星・月)トランジットと、出会い運に関連する金星・木星の配置を重点検出

出力: - 3年タイムライン(主要トランジットの年/月ごとの注記) - 3ヶ月短期スナップ(出会い運のバッジ:高/中/低)

D. Human Design (HD)

目的:行動スタイル・意思決定の『実務的指示』を導く

入力:生年月日・出生時間・出生地 **実装**: - HDチャート生成(タイプ/プロファイル/センターの定義/チャネル等) - 重要ルール(モデル内でのクロスチェック)を適用: - Personality Sun/Earthのゲートとラインを特定 - プロファイル判定時にVariable/Bodyのラインをクロスチェック(モデルセットのルール)

出力:HDサマリ(タイプ、ストラテジー、権威)+今期の行動アドバイス

E. Gene Keys

目的:深層的なテーマと課題(Shadow→Gift→Siddhi)を示す

入力:主に生年月日(出生時間あるとプロファイル精度UP) **実装**:Activation/Venus/Pearl sequenceを生成し、主要Gateの現在の活力度を解説

出力:3つのシーケンスの要約、現在期に影響するGene Keysとその実践アドバイス

F. 数秘術

目的:年数・周期でのテーマ付与(個人年、運命数)

入力:生年月日+フルネーム(任意) **出力**:個人年(例:2025年は“6年”など)に基づく行動テーマと注意点

4. クロスチェックと信頼度評価ルール

- ・**必須クロスチェック**:重要結論(例:『3ヶ月以内の出会い』)は次のうち少なくとも2つ以上の体系が肯定する場合に「高信頼」とする。
- ・西洋占星術(短期トランジットで金星/木星強化)
- ・素質論(短期リズム上で“出会いモード”)
- ・Chronogram(該当期間に高スコア日が複数)
- ・Human Design(プロファイル上の外向/受動モードが有利な状態)
- ・**信頼度スコア(0-100)**:各体系が出した肯定スコア(0-100)を重み付け平均。重みは初期値:占星術0.35、HD0.20、素質論0.15、Chronogram0.15、数秘0.10(調整可能)。

- ・結果解釈タグ：高信頼／中信頼／低信頼（閾値：>70/40-70/<40）

5. 出力テンプレート（レポート形式）

鑑定は以下の順で出力する。各セクションは簡潔な要約（1-3行）→詳細解説（200-800字）→実践アクション（箇条書き）→検証指標（具体的日付/イベント）で構成する。

カバーページ - クライアント名（表示名）、鑑定日、対象期間、使用占術一覧、信頼度総評

1. 3行サマリ（要点） - 例：今後3年間のテーマは「拡張と再編」。短期（3ヶ月）は“出会いのチャンス有”だが行動量が鍵。

2. 重要な日付と理由（タイムライン） - 3年タイムライン（年ごとのハイライト） - 3ヶ月短期注目日（具体的日付と根拠）

3. 各体系の詳細リーディング - Chronogram（注目日と説明） - 素質論（強み・弱み・行動方向） - 占星術（ネイタル重要配置＋トランジット要点） - Human Design（実務行動指示） - Gene Keys（深層テーマ） - 数秘術（個人年のテーマ）

4. 恋愛／出会い特化セクション - 3ヶ月の総合判定（高/中/低）と理由 - 運気が高い具体日と『どう振る舞うか』のアドバイス - マッチング条件（相手の傾向）と現実的アクション

5. 行動プラン（短期/中期/長期） - 具体的な行動（例：イベント参加回数、オンラインプロフィール改善、外見/内面の短期投資等） - KPI（例：3ヶ月で新規出会い5人／デート2回）

6. 検証メソッド - 検証用ログテンプレ（行動・日付・出会いの質・結果） - 次回アップデートの推奨タイミング

7. 信頼度と備考（限定的な注意） - 使用したデータの信頼度・欠損時の仮定を明示

6. 恋愛／出会い運の短期検証プロトコル（3ヶ月ルール検証用）

目的：占い師の提示した「3ヶ月以内に女性を見つけないと...」という命題を、観察可能な形に変換して検証する。

ステップ： 1. 鑑定時に『3ヶ月検証KPI』を決定（例：新規接触人数＝5、デート＝2、連絡先交換＝3） 2. 3ヶ月の中で占術が示した“高運日”に重点配置してアクションを行う 3. 行動ログ（日時、相手の概要、出会いの質）を3週間ごとにレビュー 4. 3ヶ月後に結果を占術クロスチェックして“予言の妥当性”を評価

評価基準： - 物理的出会い（直接会う）を最重視。オンラインのみは補助扱い。 - 出会いの満足度（主観スコア1-10）を記録。相手の追跡可能性（連絡先の有無）を加味。

7. 自動出力・Excelテンプレート仕様

シート構成： - Input（氏名・生年月日・出生時間・出生地・注記） - Chronogram_calendar（年/月/日・スコア・説明） - Transit_events（date・planet・aspect・target・explanation） - Action_log_template（date・action・result・score）

CSV/JSON API: 鑑定エンジンはAPI化して、入力を受け取りJSONで出力→Excelに取り込めるようにする。

8. データ欠損時の代替手順

- ・ **出生時間不明:**
 - ・ 午前/正午/深夜の3パターンでチャートを作成し、結論の共通項（変わらない部分）を抽出。
 - ・ Rectification（出生時刻の逆算）を提示可能。ただし時間を要する。
 - ・ **出生地不明:**
 - ・ 都市/県レベルを入力してもらい、タイムゾーンを手動確認。経度緯度の誤差が大きい場合は注意を明記。
-

9. 倫理・利用規約・クライアント向け説明（テンプレ）

短い説明（鑑定先に送るイントロ）： - "この鑑定は複数の伝統的／現代的占術を統合した助言を提供します。最終判断はクライアント自身にあり、鑑定は参考情報としてご利用ください。個人データは鑑定目的以外には使用しません。"

免責： - 本鑑定は医療・法律・投資等の専門判断を代替するものではありません。

10. 追加アップデート案とバージョンニング

- ・ **v1.0（本書）：** 基本ワークフローとテンプレを実装可能な状態で提供
 - ・ **v1.1：** 機械判定の閾値調整、信頼度重みの調整機能追加
 - ・ **v2.0：** UI実装（Webフォーム／自動チャート生成）とAPI化、チャート画像の自動生成
 - ・ **将来的追加：** 自然言語生成による“クライアント向け要約メール”のテンプレ、自動検証ダッシュボード
-

最後に（運用上の覚え書き）

- 初回は必ず「入力データ（生年月日・出生時間・出生地）」の確認をクライアントと一緒に行う。誤入力
が最も多いエラー要因。
- 重要な結論（例：3ヶ月の出会い）には必ず行動KPIをつけ、検証可能にしておくこと。

このドキュメントは編集可能です。次のステップとして、テンプレの“具体的出力例（サンプル鑑定）”と、自動化用のExcelテンプレ（.xlsx）を作りますか？